

事務事業名		高齢者生きがい活動支援通所事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4821	一般	3	1	3	高齢者生きがい活動支援通所事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成13年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者生きがい活動支援通所事業実施要綱				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		一部委託		
	事業区分						事業分類		支援事業		
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所の場を設けて各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び介護予防を図る。 市内9箇所で開催しており、地区社協、運営委員会、社協等に事業委託している。 実施回数は、週1回程度となっている。予算はすべて委託料。			家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所の場を設けて各種サービスを提供することにより、社会参加を促進し、社会的な孤立感の解消、自立生活の助長を図る。						
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			事業の参加者数	人	7,734	8,121	8,200	8,300	8,400
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
おおむね60歳以上の自立した生活を営んでいる方。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			60歳以上の高齢者数	人	41,687	42,554	43,421	44,288	45,155
目的									
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
地域の活動に参加してもらえる高齢者、介護をいつまでも必要としない高齢者を増やしていく。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			一次予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900	5,950	6,000
④結果(どのような結果に結びつきますか?)									
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300	67,300	68,300
			老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000	145,000	146,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	4,141	2,819	2,520	2,520	2,520			
	一般財源	千円	4,805	5,865	6,200	6,100	6,000			
	事業費計(A)	千円	8,946	8,684	8,720	8,620	8,520			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			事業委託料	8,946	事業委託料	8,684	事業委託料	8,720	事業委託料	8,620
	人件費	人	2	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	240	200	200	200	200				
人件費計(B)	千円	934	788	788	788	788				
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,880	9,472	9,508	9,408	9,308				

事務事業名	高齢者生きがい活動支援通所事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成13年に、介護予防事業の必要性に対応するため、植野はつらつセンターの設立に始まり、旧田沼町、旧葛生町の施設を加え、現在9箇所で開催している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	虚弱な高齢者に対する介護予防は、介護保険制度の中で地域支援事業として実施されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	閉じこもり防止ばかりではなく、より介護予防として内容を充実させるよう市議会議員などから要望されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	委託事業の決算状況を勘案し、委託料の削減を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	高齢者の閉じこもり防止や生きがいづくりを目的としており、社会参加を促し、豊かな長寿社会の実現に向けた政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	介護予防の一環として重要な事業であり、高齢者が生きがいを持ち活動することで、医療費の抑制にもつながる。社会福祉協議会、市民団体等に委託をしている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	各会場で内容や運営が異なるが、参加者は増加傾向にあり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	地域でのボランティアの参加や介護予防事業などの連携が図られてきており、内容の充実も図られてきている。成果は充分に出ている。事務事業のやり方の見直しも行っており、今以上の成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	委託料の大半が人件費や建物の賃借料など必要経費である。平成26年度予算で591千円削減した。平成29年度までに、さらに段階的に委託料の削減を図っていく。人件費については、必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	それぞれの会場で実情に合わせて参加者負担金を徴収しており、受益者負担が行われている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	介護予防の必要性が高まっており、廃止・休止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 平成26年度予算で591千円の削減を図ったところであり、平成27年度は現状維持とし、平成28年度で100千円、平成29年度で100千円の削減を目標とした事業費削減計画を進めていく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×	市町合併直後から比較すると、事業全体で約7,000千円近くの委託料が削減されている。さらに削減するためには受託事業者の更なる理解を得ていかなければならない。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	○		×																			
低下		×	×																			